

| 項目 | 確認事項 | 届出内容 |
|-----------------------|---|--|
| 基本情報 | 大学等名1(代表大学等) | 佐賀大学 |
| | 大学等名1(代表大学等)※カナ | サガダイガク |
| | 大学等名1(代表大学等)学校所在地 | 九州地方 |
| | 大学等名1(代表大学等)学校種別 | 国立大学 |
| | 大学等名2(連携大学等) | |
| | 大学等名2(連携大学等)学校所在地 | |
| | 大学等名2(連携大学等)学校種別 | |
| | 科目名 | 地方創生インターンシップ1、地方創生インターンシップ2 |
| | 学部・研究科等名 | 理工学部 |
| | 担当教職員名・役職 | 三島 伸雄教授、梶木屋 龍治教授、房安 貴弘准教授、岡崎 泰久教授、成田 貴行准教授、服部 信祐教授、田中 高行准教授 |
| | 受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数 | 10 |
| | 受入企業等数 | 7 |
| | 受入企業等名 | (株)中野建設、松尾建設(株)、(株)三原建築設計事務所、(株) 渋江建築設計事務所、(株)戸上電機製作所、(株)佐土工、(株) 東洋空気製作所 |
| インターンシップの分類 | 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ | |
| 上記以外のインターンシップの分類(記述欄) | | |
| 要素① | 1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。 | 1.はい |
| | 1-2.該当する就業体験 | 1.企業等における業務への従事 |
| | 1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄) | |
| | 1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | 以下の(1)~(4)の少なくともいずれか一つを到達目標とする。(1) 研修企業から与えられた課題に対して、学生ニーズを分析することができる。(2) 研修企業から与えられた課題に対する議論を整理してまとめることができる。(3) 研修企業から与えられた課題に対するグループの提案をまとめることができる。(4) 研修企業から与えられた課題に対する提案を的確に説明することができる。 |
| 要素② | 2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。 | 1.はい |
| | 2-2.該当するインターンシップの内容 | 3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している |
| | 2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄) | |
| | 2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄) | 2年次~4年次 |
| | 2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄) | 1~2単位 |
| | 2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | 地方創生インターンシップ1は1単位、地方創生インターンシップ2は2単位 |
| 要素③ | 3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。 | 1.はい |
| | 3-2-1.該当する事前学習の内容 | 1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している |
| | 3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄) | |
| | 3-2-2.該当する事後学習の内容 | 1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている |
| | 3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄) | |
| | 3-2-3.該当するモニタリング | |
| | 3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄) | |

| | | |
|--------|--|---|
| | 3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄) | 7月上旬 事前学習 第3回 実習先の企業理念等に関する研究 第4回 実習先の事業概要に関する研究 第5回 実習先の事業内容に関する研究 第6回 実習先の強みに関する研究 第7回 最低限のビジネスマナーの習得 |
| | 3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄) | 研修後に合同の発表会を行い、研修成果に対する意見交換を行う。 |
| | 3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄) | |
| 要素④ | 4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。 | 1.はい |
| | 4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み | 1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている |
| | 4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄) | |
| | 4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | インターンシップ報告書の作成及び発表、質疑応答 |
| 要素⑤ | 5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。 | 1.はい |
| | 5-2.該当する実施期間 | 1.連続した5日間以上の実施期間を確保している |
| | 5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄) | 5～10日間 |
| | 5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄) | |
| | 5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄) | |
| | 5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄) | |
| | 5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | 5日インターンシップの例第1日目 企業によるインターンシップ概要説明 作業現場の見学と取り組み内容の理解 第2日目 作業体験1 第3日目 作業体験2 第4日目 プレゼン資料作成の作業補助 プレゼンへの参加 第5日目 作業の振り返り |
| 要素⑥ | 6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。 | 1.はい |
| | 6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容 | 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している |
| | 6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄) | |
| | 6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | 文部科学省 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業「さが地方創生人材育成・活用プロジェクト」は、佐賀県内の大学群、地方公共団体、産業界等が連携し、大卒者の地元就職率の向上と雇用の拡大・創出を進めることで、地方創生を担う人材の育成・活用を推進するものです。この事業と連携してインターンシップを実施しています。 |
| | 7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL | https://lc2.sc.admin.saga-u.ac.jp/syllabus2/syllabusReferenceContents.do |
| 問い合わせ先 | 大学等名 | 佐賀大学 |
| | 担当部署名 | 学務部教務課 |
| | 担当者役職名 | |
| | 担当者氏名 | |
| | 電話番号 | 0952-28-8517 |
| | メールアドレス | rikyo@mail.admin.saga-u.ac.jp |